

さくらまちとミライ

ささいあみ おおみちゆうか

さくらまちとミライ

ささいあみ おおみちゆうか





さくらまちと

ミライ

ささいあみ おおみちゆうか





さかないね

ながい ふゆが おわり はるが やってきました。
さくらまちには まだ さくらが さきません。

「まだ さくら さかないのかな」

ミライくんは いつもより さみしい
はるのみちを あるいていました。

すると はっぱが いちまい ひらり
と おちてきました。



「き は はっぱを つけていないのに
どこから やってきたのかな」



よく みると なにか かいてある
ようです。



ミライくんは どこからか みられている
きがしました。 みあげると、

ちいさな なにかが
こちらを みています。

「それ わたしのだよ おとしちゃったの」

ミライくんは はっぱを かえして あげました。

「ありがとう わたし ペタル！」

この さくらのき に すんでるんだよ」

ペタルは このまちの さくらのようせい のようです。





?



「ミライくんは どうして さくらが さかないの」
と ペタルに たずねました。
どうやら ペタルの きょうだい 5にんが
そろわないと さくらが さかないようです。

「いまから みんなの おうちに おむかえに いくんだ
でも、、、 ひとりで いけるかな」
と ペタルは すこし しんぱいそうに いいました。

「ぼくが いっしょに いくよ！」
ミライくんが いうと ペタルは
うれしそうに いこう！ と わらいました。





ペタルが ミライくんの てに そっ と ふれると...
あらふしぎ ミライくんは みるみる ちいさく になりました。



「さあ いこう！」
たんけん の はじまり です。

ぺた　ぺた　ぺた

ひとりめの　きょうだいに　あいにくさきの　トンネルを　すすみます。

だんだんと　こどもたちの　げんきなこえが　おおきく　なって　きました。



トンネルをぬけると こうえん でした。

こどもたちと あそぶ サムの すがたが 見えます。

サムは こうえんの さくらのきに すんでるんですって。



どうやら あそびに むちゅうで
はるの まちあわせを すっかり
わすれていた ようです。



「じかんで わすれちゃう くらい
すてきな ばしょ なんだ
いえの なかに いても
こどもたちの たのしそうな
こえが きこえてくるんだぜ」

サムにとって こどもたちが
のびのび あそべる こうえんは
じまんの ばしょ の ようです。

「そらが おおきく みえる
こうえんに かわったんだ
もっと あかるくて たのしい
ばしょに なったよ」
サムは こどもたちと ずっと
たのしく あそびたいんですって。



「こどもたちを もっと
たのしませる ために
はやく さくらを さかせなくちゃ」

ペタルが いうと サムは
なごりおしそうに はるの まちあわせばしょ
に むかいました。



つぎは だれの
おうちに いくのかな。

よいしょ よいしょ
けやきの さかみちを のぼります。
すると...



ころ



どーん！

さかの　うえから　ころがって
きたのは　どじっこの　コロでした。

「コロちゃんたら　また　みんなのこと
ばかり　みて　まえを　みてなかったでしょ」



コロは　まちの　みんなを
ながめることが　だいすきなのです。

「ごめん　ペタル　ぼくね　まちのみんなの
いろんな　すがたを　みてたら　たのしくて
つい　えへへ」

ささえあうみんな



たのしそうなみんな



いつもどおりのみんな



コロは いままでも まちのみんなを みまもって きました。

「ぼく みんなが さくらを みてる
かおが ほんとうに すきなんだ
でも ことしは なんだか ひどが
すくないんだよな」

「だって さくらを さかせてないんだもん」
ペタルは ふくっ と ほお を
ふくらませました。

「きっと みんな まってるよ」
と ミライくんが いうと コロは
あわてて はるの まちあわせばしよに
むかいました。



カン カン カン

ふみきりを わたると

おおきな がっこうに つきました。

「ぼく はるから ここに かようんだ」

と ほこらしげな ミライくん。



すると どこからか

こえが きこえてきました。

／おーい！／

「ペタルと おともだち！

ようこそ チャメの おっきな おうちへ！」

ミライくんは おどろいたかおで
ペタルを みました。

「ちがうでしょ チャメちゃんの
おうちは こっちの き でしょ」

がっこうの そばの さくらのき
から せいとたちを みまもってきた
チャメは がっこうの ことなら
なんでも しっているようです。



「がっこうには たくさんの おともだちが いるよ
あそんで まなんで いろんなこと と
であう ばしょだよ」

「こどもたちは まちのみんなの
たからもの なんだよ
だから がっこうは
まちのみんなの たからばこだよ」

こどもたちは まちのみらい
だから チャメも
まちの おとなたちと
いっしょに そっ と
みまもりたいのです。



みまもりたすぎて、、、
「まだ ここに いる！」

チャメは はるの まちあわせばしよに
いきたくない と だだを こねはじめました。
ペタルも こまりがおです。

「ぼくが いちねんせいに なるとき
さくらが さいていないと さみしいな」
ミライくんがいうと
チャメは だいじなことを
おもいだしたようです。



「さくらを さかせて あたらしい
おともだちを むかえないとだね！」
と いって いそいで
はるの まちあわせばしよに
むかいました。



ぺた　ぺたぺた
さいごのきょうだい　ロールの
もとに　むかいます。

ロールの　おうちには　おしゃれな
つたの　かいだんが　あるのです。

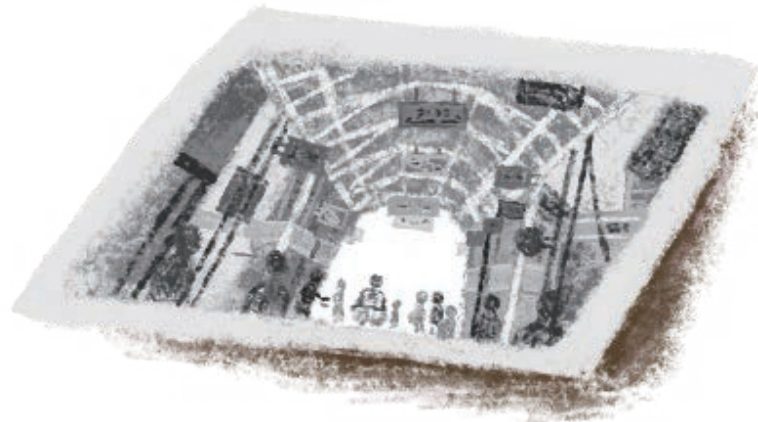


とびらを あけると こうちゃの
いいにおいにつつまれました。
「あら ペタル いらっしやい
すてきなおともだちも いっしょなのね」

ロールは なにかを
ながめていたようです。

「これはね むかしの このまちの
しゃしんよ むかしは にぎやか だったの
いまは すこし おちついてきたのよ
けど それも すきなの」

「ときが たつに つれて
なくなっちゃった ものも
あるんだけどね、…」



ミライくんも　なんだか　かなしく
なりました。

「でもね　まちの　みんなが
かわっていくように
まちも　ちょっと　かわる
そうやって　のこしていくのが
たいせつよね」

ミライくんと　ペタルは
ちからづよく　うなずきました。





「ロールちゃん　ことしは　まだ
さくらの　こうちやを　のんで
ないんじゃない？」
ペタルは　こうちやを　ゆびさして
いいました。

「あら！　すっかり　わすれてた
さくらを　さかさに　いかなきゃね」

さいごの　きょうだいが　はるの
まちあわせばしよに　むかいました。

これで さくらを さかせる じゅんびは できました。



「ミライくんと であえたから
ことしも さくらまちに
さくらが さくよ ありがとう」
ペタルは いっしょに
たんけんをした ミライくんに
かんしゃの ことばを つたえました。



たのしかった たんけんが おわり
ペタルの いえへ と かえります。
でも ミライくんは
さみしく になりました。
それは このまちのことが
だいすきに なった からです。





「このまちが ありつづけるかぎり ずっと おともだちだよ」

と ペタルが いいました。

ミライくんは ずっと このまちで ペタルたちと ともだちでいたい と おもいました。

「ずっと つづく まちって どんなまちだろう」

ミライくんは まちの みらいを
かんがえると わくわくして げんきになってきました。



きみが かんがえる みらいのまち は どんなまち？



「まちを おもう きもちを
たいせつに してね

まちは みんなの て で
つくられて いるんだよ」

ミライくんと ペタルたちは
この はるのひを わすれない
と やくそく しました。

「つぎの はるも
そのつぎの はるも
ここで また あおうね」





つよい かぜが ふきました。
ペタルたちは かぜに のって
そらに とびあがります。

すると...



わ
ら
し
...

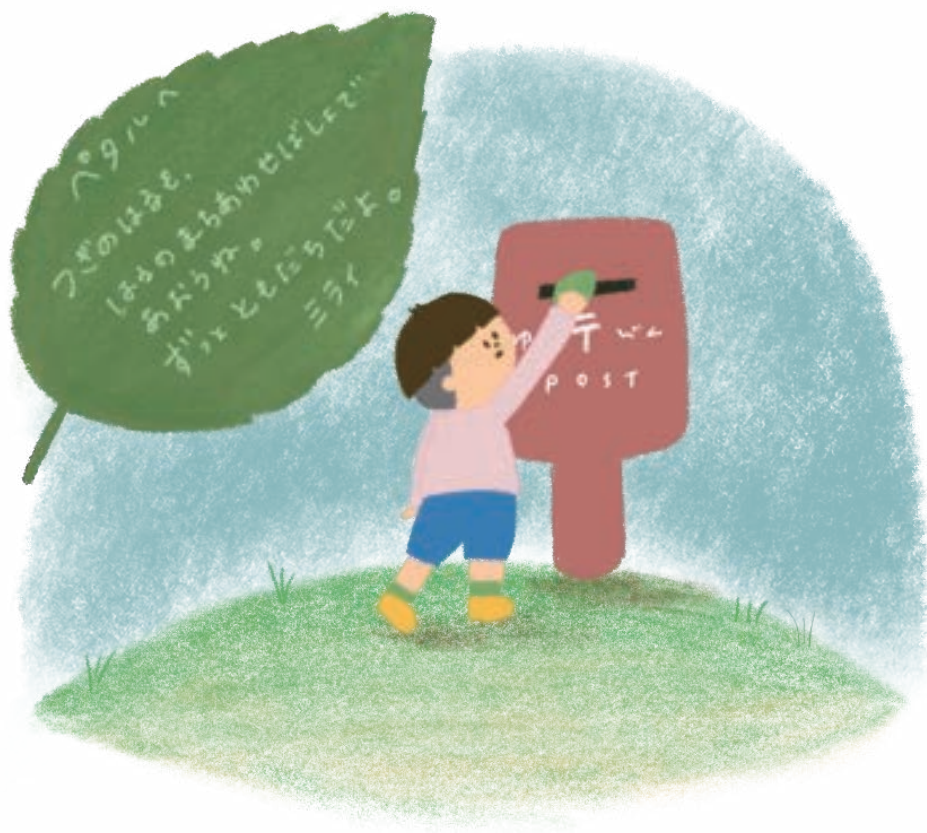


さくらまちに おそぎきの さくらが さきました。
はるの おどずれを まちの みんなも よろこんでいます。



「ペタルたちも よろこんでいるかな」

ミライくんは みんなの えがおと このけしきが ずっと
つづく さくらまちで あるように ねがいました。



つぎのはる さくらまちで またあおうね。

きみがかんがえる

みらいのまちは

どんなまち？

2023 ねん 7 がつに

ちゃや たなばたフェスタで

ワークショップを したよ。

ミライくんと いっしょに

40 にんの おともだちが

まちのみらい について かんがえたよ！

- 1 ポストカードに
じゆうに かいて...



- 2 ポストに どうかん！



高島市長より ▶



たのしい みらいのまちが できたよ。

みんなで つくった みらいのまちを みてみよう！

みんなが かんがえる みらいの あしやのまち



「さくらまちとミライ」に どうしようするばしょ

あしやモノリス

ロールのおうちのモノリスは
むかしは ゆうびんきょく
でんわじむしつ だったんだよ。
いまは けっこんしきじょう や
レストランになっているよ。
かたちをかえて ずっと まちに
残っているんだよ。



ロール

こどもたちの いろんなこえが
きこえる しょうがっこうだよ！
まちのこどもたちの げんきな
すがたをずっと みまもっているよ。



チャメ

せいどうしょうがっこう





みやづかこうえん

サムのすむ みやづか こうえんは
むかしからの いろんな おもいでが
つまった こうえんだよ。
いまは こうじされて そらが
おおきく みえる こうえん に なったよ。
あそびにきてね！



サム



コロ

さかのある けやきの なみきみち
に すんでいるよ。
まちの ひどの ようすを みまもる
ことが できるよ。
あたたかくなると みどりが
いっぱいになる このばしょが
だいすきなんだ！

けやきのさかみち

キャラクター紹介

さくらまちとミライにでてるおともだち



ミライくん

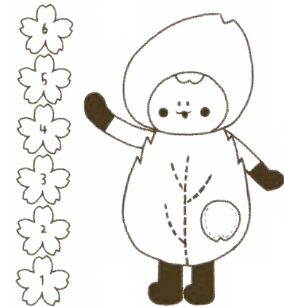
さくらまちに住む男の子。もうすぐ小学生。
さくらまちをお散歩することがだいすき。
さくらの花びらのような形になっている
アホ毛が、ようせいたちから大人気。



さくらまちにすむ

ようせいたち

さくらのようせい。5つ子で、ロール、サム、コロ、チャメ、
ペタルの順番に産まれた。
身長はだいたいさくらの花6つつ分。ペタル以外、春にさくらの
花を咲かせに行くことをすっかり忘れていた。



モノリスの花壇の木に住んでいる。
つたの階段が目印。
英語で花びらを意味す
「corolla」からロールと名付け
られた。
いつも紅茶のいい香りがする。



ロール



サム

公園のさくらの木に住んでいる。
英語で開花を意味する「blossom」
からサムと名付けられた。
1番好きな遊びはおにごっこ。

さくらの老木に住んでいる。
ペタルという名前は、英語
で花びらを意味する「petal」
からきている。
まちのために、ミライくん
と探検にでるしっかりもの。
歩くとペタペタ音がする。



ペタル



コロ

けやきの並木道に住んでいる。
よくよそみをして、坂をころころ
ころげおちているどじっこ。
英語で花びらを意味する「corolla」
からコロと名付けられた。

小学校の近くのさくらの木に
住んでいる。
おちゃめな性格と茶屋之町で
生まれたことが名前の由来。
おちゃめがいきすぎてたまに
ロールに怒られる。



チャメ

さくらまちにすむ “さくらのようせい” たち



あとがき



初めてあしやを訪れたのは、まだ少し桜が残っている頃でした。すてきな街並みと立派なさくらの通りにとても魅力を感じました。そして、まちを想う人々の「このまちを遺していきたい、更に良くしたい」という気持ちに触れ、私たちもこのまちの魅力や歴史を伝えていくお手伝いをしたいと思いました。

私たちができることは何か考えるうちに、“私たちらしく、私たちから見たあしや”を表現したいと思うようになりました。そして、先生方やお友達から褒められることが多かった絵を使った、“絵本”というツールでまちの未来について考えるきっかけを作りたいと思いました。

子どもたちに地域の魅力を発見してもらい、まちに愛着を持ってほしいという想いから地域絵本の製作が始まりました。あしやを舞台にした地域絵本「さくらまちとミライ」は、子どもたちが、まちを知ること未来のまちを夢見ることができる絵本を目指して作られています。

まちの未来に向けてどの年代の人にも“自分たちの住むまちや今の暮らしをちょっと良くするまちづくり”に関心を持ってほしいです。まずは、まちの未来でもある子どもたちにとって、自分の住むまちを身近なものにできたらと思います。さくらまちに桜を取り戻したミライくんのように自分もまちを支える1人なんだときづくきっかけをこの絵本を通してお伝えしたいと思います。

子どもたちが実際にまちを歩くとき、ミライくんのように探検する気分で日常のまちをちょっと違った視点で見えて、ちょっと楽しくなる、そして、ちょっと自分のまちを考えてみる、このようにまちづくりの輪が広がっていくことを願っています。子どもたちが、大人になったちょっと先の未来でも、ふとこの絵本のことを思い出してまちのことを考えてくれたら嬉しいです。

武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科 まちづくりコース 3年

ささいあみ おおみちゆうか



ささい あみ
笹井 愛未

2002 年生まれ、徳島県出身。

武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科まちづくりコース 3 年生。

おおみち ゆうか
大道 柚香

2002 年生まれ、兵庫県出身。

武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科まちづくりコース 3 年生。

「さくらまちとミライ」 作 / ささいあみ おおみちゆうか

2023 年 5 月 「えほんみらいプロジェクト」発足
えほんみらいプロジェクトが手掛けた初めての絵本。

<製本協力>

岡本真由子 鎌田誠史 合田昌宏 伊丹康二（武庫川女子大学教員）

茶屋之町自治会・芦屋市 茶屋さくら通り事業者会の皆様

武庫川女子大学生活美学研究所

